

ご支援をいただきました皆様

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生への支援について（御礼）

本校の学生が、新型コロナウイルス感染症の影響による家計の収入減等の理由により、就学を断念することがないように支援するため、本校教職員や地域企業等の皆様に鶴岡高専人財育成基金（就学支援奨学金）へご寄附をお願いしてまいりました。

その結果、学生生活を案ずる教職員、在校生の保護者、後輩を思う卒業生、日頃から本校を応援してくださるOB教職員並びに地域企業の皆様など、たくさんの皆様から温かいご支援を頂戴いたしました。この場をお借りいたしまして心から御礼申し上げます。

私は校長として、新型コロナウイルス感染症の問題発生当初から、学生たちには困った際には学校に相談するよう繰り返し伝えてきました。本校を頼りに支援を求めてきた学生たちの声になんとか応えられないか、何とか応えなければならないという思いから、いち早く貸与型の就学支援奨学金を企画し、経済的に困窮している旨を申し出たすべての学生に5万円を就学支援奨学金として貸与いたしました。しかしながら、奨学金の返還期間は年度内としておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響はいまだに続いており、経営状況が悪化している企業等が増えている状況において、奨学金の返還を求めることが当該学生の就学を困難なものにすると判断し、8月末まで申請のあった6名のうち3名の学生には、奨学金の返還を全額免除することといたしました。

なお、9月中に申請があった学生については、今後の状況を勘案し判断することとしております。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため学生寮の居室での密集・密接を回避する必要があることから、やむを得ず入寮学生数の制限が必要との判断に至り、寮生に退寮を呼び掛けたところ、寮生自ら退寮に応じ、家賃が発生する賃貸物件に入居することとなった8名の学生に対して、6万円の家賃補助を行うことといたしました。

これらは、皆様からたくさんのご支援を頂いたおかげで、可能となった本校の学生への支援です。

改めまして皆様からのご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも鶴岡工業高等専門学校をご支援いただきますようお願い申し上げます。

令和2年11月10日

独立行政法人国立高等専門学校機構  
鶴岡工業高等専門学校長 高橋幸司